

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社パワートレイン

24-22-12-055-050

A.バックオフィス	055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減
新技術活用	

コースのねらい	業務の効率化とコスト削減をめざして、RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日	時刻
講義内容	1 ■ 業務を自動化する RPA(Robotic Process Automation)	(1)RPAを用いた業務改善の基礎(問題発見手法) RPAでの業務改善の基礎、問題をどのように発見するか、発見した課題をどう解決するか?、Visionと現状、ECRSの原則による解決方法について解説します。	1.0	令和6年 10月3日(木) ポリテクカレッジ 浜松	9:30~16:30 昼休憩 11:45~12:45
		(2)RPAの特徴 様々なRPAツールの特徴について解説します。 RPAの得意・不得意や予算感について解説します。	0.5		
		(3)RPAの導入手順 生産性向上の一つの手法として業務改善があります。業務改善の目的とは何なのかについて、その基本を解説します。そして、業務改善を行う上で最も重要な業務の構造(OIP)と業務プロセスに対する考え方について解説します。	0.5		
	2 ■ RPAを活用した業務効率化と コスト削減策の立案	(1)RPA活用のための業務可視化ワーク【演習あり】 業務改善ワークシートを用いて、自分自身の業務の洗い出しを行います。まず大枠の業務を20項目ほど洗い出し、その中から改善できそうな業務をピックアップします。ピックアップした業務の詳細ステップを可視化します。	1.5		
		(2)RPA活用による業務効率化の検討【演習あり】 RPAを活用してどのように業務を改善するか、上記の演習で洗い出した業務の中からRPA化で改善できそうな課題をピックアップして、グループにてディスカッションを行います。具体的に、どのようなシナリオ(RPAの機能をどう活用するか?)で作成するかについて可視化を行います。	1.5		
		(3)RPAを使った自動化実証実験演習【演習あり】 上記の演習でRPA化が想定された課題に関して、実際にRPAを使ってPoC(実証実験)の演習を行います。単純化した業務モデルを作成し、RPAでテストシナリオ作成体験を行います。	1.0		
合計時間			6時間		

カリキュラム作成のポイント	RPAは概念のみ学習しても自社での活用方法まで応用することが難しい分野のため、RPAの実際をデモンストレーションおよびグループワークにて実体験頂くことで、自社での活用イメージを持ち帰れるよう工夫している。RPAは業務改善のツールであるため、業務改善の具体的な進め方とRPAの導入方法についてグループワークにて実習することで、導入の勘所を実感していただくよう工夫している。 中小企業においても働き方改革やコロナ禍によりその生産性向上が求められている背景を解説し、ITツールをどう活用したらいいのか?という勘所についても解説します。
---------------	---